

総合交通体系〔地域モビリティ戦略〕研修

デジタル技術を活用した 地域交通課題の解決手法

～「勘と経験と度胸」から
「仮説・検証・データ分析」へ～

本日の内容

項目	概要	目安時間
1. はじめに	自己紹介、本プログラムの目的	13:00～ 10分
2. データの重要性	デジタル技術で可能なこと、データに基づいた議論やデータの可視化の重要性の説明	13:10～ 10分
3. データの活用事例	現状把握や課題分析におけるデータ活用事例を紹介	13:20～ 30分
休憩		13:50～ 10分
4. 課題把握の実践例	現状把握から課題分析をコンサルタントがどのように考えているのかの実践例を紹介	14:00～ 30分
	演習①：問題点・課題の仮説	14:30～ 50分
	演習②：必要な調査の抽出	15:20～ 10分
	演習③：問題点・課題の検証	15:30～ 40分
	演習④：問題点・課題の解決方策	16:10～ 20分
	発表 : 各班の発表 (7分×5班)	16:30～ 35分

デジタル技術を活用した地域交通課題の解決手法
～「勘と経験と度胸」から「**仮説・検証・データ分析**」へ～

目的①：地域交通に係るデータとその可視化方法を知る

目的②：課題の仮説とデータを用いた検証方法を経験する

目的③：デジタル技術を用いた課題解決策と効果を知る

データは、
状況を把握し、
うまくいっていない状況（問題点）を見つけ、
改善に向けてやるべきこと（課題）を整理し、
効果的な対策を講じ、
対策がうまくいったかどうかを確認する
ために、基礎的な情報です。

地域公共交通の維持・活性化には、数多くの関係者がいて、その協働が必要不可欠



関係者間の合意形成のために必要なツールです。